

授業科目名 (サブタイトル(副題))	保育実習Ⅱ		
担当者	安田 則子、川村 高弘		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他			
[到達目標]			
①保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深めることができるようになる。			
②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深めることができるようになる。			
③既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解できるようになる。			
④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深めることができるようになる。			
⑤保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解することができるようになる。			
⑥実習における自己の課題を明確化することができるようになる。			
[授業概要]			
保育士、保育所長の経験を有する教員が、保育実習について指導を行います。			
クラスに配属され、子どもに直にふれるとともに、保育士による保育及び子ども並びに保護者との関わりを観察します。また、実習園の一日の生活の流れ、保育環境について理解を深めていきます。さらに、日々の実習記録をまとめ、指導計画を立案し、部分実習、全日実習を行います。			
現場での先輩保育士から学ぶ姿勢で積極性と意欲をもって実習に臨み、実践力を身に付けながら保育者としての学びを深めてください。			
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]			
資料を自ら探し、教材研究に取り組んでおいてください。			
[授業計画]			
1. 養護と教育が一体となつて行われる保育			
2. 保育所の社会的役割と責任			
3. 子どもの心身の状態や活動の観察			
4. 保育士等の援助や関わり			
5. 保育所の生活の流れや展開の把握			
6. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携			
①環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育			
②入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援			
③関係機関や地域社会との連携・協働			
7. 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解			
8. 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価			
9. 保育士の業務と職業倫理			
①多様な保育の展開と保育士の業務			
②多様な保育の展開と保育士の職業倫理			
10. 自己の課題の明確化			
[成績評価方法]			
実習記録(50%)、実習施設による評価(50%)で評価します。			
[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]			
課題は回収後、解説を行います。			
[オフィスアワー(質問等の受付方法)]			
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。			
[メールアドレス]			
(川村)tkawamura@kwjc.kobe-wu.ac.jp			
(安田)n-yasuda@kwjc.kobe-wu.ac.jp			
質問等がある場合は、メールの件名に授業名・学科名・氏名を記載し、メール本文に質問事項等を記入してください。			

後期	実習	2 単位
----	----	------

授業科目名 (副題)	保育実習Ⅱ
担当者	安田 則子、川村 高弘
[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 【幼教2-1】幼児教育・保育の実践を行うために必要なコミュニケーション力、表現力、問題解決力の基礎を有している。 成績評価方法: 実習記録、実習施設による評価 【幼教3-1】幼児教育・保育に関わる熱意と責任感、倫理観を有している。 成績評価方法: 実習記録、実習施設による評価 [テキスト(ISBN)] [参考文献(ISBN)]	